

強くなやかな
JR産業を築くために
組織と運動を磨き、責任ある活動を
全力で推し進めよう!



JR 連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

<http://www.jr-rengo.jp>

日本鉄道労働組合連合会

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10
東興ビル9階
TEL (NTT) 03-3270-4590
FAX (NTT) 03-3270-4429
1部20円(但し組合費に含む)

facebook

JR連合

(旧twitter) JR連合

●発行者/荻山市朗 ●編集者/宮野勇馬



2025年 新春

JRグループで働くすべての仲間の雇用・生活を守るため 「JR連合ビジョン」を実践するJR連合へ総結集しよう

写真：吉野川河畔から望む日の出(徳島県)

撮影者：大倉 颯さん (JR四国労組 総務部分会)



副会長
辻村 和裕



副会長
吉田 祥司



副会長
大谷 清



副会長
上村 良成



副会長
尾内 裕昭



副会長
小林 徹志



副会長
人見 圭一



会 長
荻山 市朗



執行委員
吉田 春菜



執行委員
羽野 敦之



執行委員
今井 孝治



執行委員
(労働政策局長)
住吉 一家



執行委員
(産業政策局長)
石川 敏也



執行委員
(組織局長)
相良 夏樹



執行委員
(企画局長)
宮野 勇馬



事務局長
政所 大祐



会計監査員
福本 英治



会計監査員
宮崎 勝典



特別執行委員
本田 雅明
(こくみん共済coop派遣)



特別執行委員
中山 耕介
(連合派遣)



特別執行委員
慶島 譲治
(交運労協派遣)



特別執行委員
坂上 拓也
(青年・女性委員会)



特別執行委員
李澤 亮太
(青年・女性委員会)



特別執行委員
奥村 敬弥
(グループ労組連絡会)

2025新春鼎談 労働組合の果たすべき役割を発信し JR連合のさらなる成長へ

労働組合委員長から社長へ 異なる環境の労使関係から学びを

【吉田 司会】あけましておめでとう。吉田 JR連合執行委員の吉田 春泰です。よろしくお願います。まず、今回の新春企画を、なぜ味の素さんの労使にお願いすることにしたのか、萩山会長から思いをお話しください。

【萩山会長】藤江社長は労働組合委員長を含め10年間の専任役員経験をお持ちの勉強家な方で、一緒に働く魅力を感じていました。その後、活躍が目まぐるしく、社長に就任され、賃上げや適正な価格転嫁などについて非常に

企業発展の原動力は人財力 挑戦を楽しむ企業文化を労使で

【吉田】味の素では、人財や労使関係を非常に重視していると感じています。その後の活躍が目まぐるしく、社長に就任され、賃上げや適正な価格転嫁などについて非常に

【藤江社長】味の素の労使関係は非常に良いと思います。人財力や労使関係を非常に重視していると感じています。その後の活躍が目まぐるしく、社長に就任され、賃上げや適正な価格転嫁などについて非常に



東京・中央区京橋の味の素本社にて

グループを含めた人財交流をもとに 労使で課題解決に取り組む

【吉田】コミュニケーションの話題が出ましたが、サブライチやグループ会社との関係も重要ですね。

【藤江社長】昨年、ハラスメント撲滅宣言をしました。宣言をするということ、残念ながらもまだあるということ、これを「最終的なゴール」として、宣言するだけでなく、グループ全体としての統合的な取り組みや、人財交流が大事だと思います。同じグループ

職制を通じて届く情報が現場のすべてではない 労働組合の力でより良い社会を

【吉田】2025春季生活闘争に対する思いは何かでしょうか。

【藤江社長】賃上げは大事です。そして、賃上げには海外でも必要です。海外では賃上げも、値上げも当たり前です。日本はこの30年間、値上げも賃上げも難しい環境でした。2年3年前からいい流れが出てきています。来春の取り組みは経営者としても

【藤江社長】私は中国、フイリビエ、ブラジルの現地法人で仕事をしています。人種も宗教も習慣も違います。海外では多様なダイバーシティが当たり前です。手前がかりですが、多様な人財に活躍してもらった方が成功確率は高まると思います。

【萩山会長】女性活躍のためには、トップがリーダーシップを発揮してメッセージを送ることが大事です。プロジェクト提案を通じて、M・A・Dをより広げることが重要です。

【吉田】2025春季生活闘争に対する思いは何かでしょうか。

【藤江社長】賃上げは大事です。そして、賃上げには海外でも必要です。海外では賃上げも、値上げも当たり前です。日本はこの30年間、値上げも賃上げも難しい環境でした。2年3年前からいい流れが出てきています。来春の取り組みは経営者としても

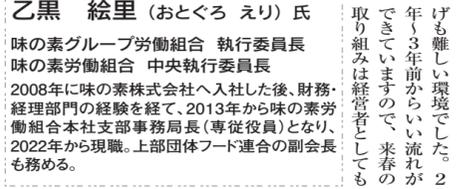
【吉田】改めて、「労使で企業発展のために」という理念、方向性の一致を感じたいと思います。

【藤江社長】最後にそれぞれの立場から、労働組合の重要性、必要性についてお話ししたいと思います。

【藤江社長】私は労働組合によって社会がより良くなると思っています。組織の強さには、「方向性の一致」「個々の力の強さ」「メンバー間の良好な関係性」の3要素が大事です。労働組合は方向性を一致させるために、運動方針をつくりませんが、社長になってみたい姿の方針をつくる際、労働組合での経験が大いに役に立ちました。また、メンバーが自分の財布から組合費を払うというのもとても大事です。そのうえで活動に参画し、価値を生み出していく。参加

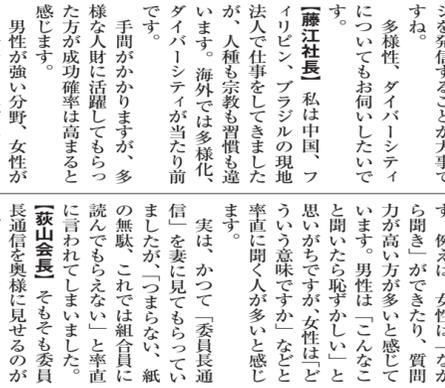
【藤江社長】もう一つ言わせてください。私、JRFファンなんです。愛読書の「時刻表」です。今回取材の話も、今更に取りたいです。自宅にある1970年代の時刻表を見ながら、当時松江の母の突然に急行「だいでん」で7時間くらいかけて帰ったことを思い出しています。JRの皆さん、これからも頑張ってください。

【萩山会長】「期待に応えられるようしっかりと取り組んでいきたいと思えます。今日は貴重なお話をいただき、ありがとうございます。」



乙黒 絵里 (おとぐろ えり) 氏
味の素グループ労働組合 執行委員長
味の素労働組合 中央執行委員長

2008年に味の素株式会社へ入社した後、財務・経理部門の経験を経て、2013年から味の素労働組合本社支部事務局長(専任役員)となり、2022年から現職。上部団体フード連合の副会長も務める。



藤江 太郎 (ふじえ たろう) 氏
味の素株式会社 取締役 代表執行役社長
最高経営責任者(CEO)

1985年に味の素株式会社へ入社した後、2008年中国事業本部中国食品事業部長、2011年フィリピン味の素株式会社社長など10年以上の海外経験を経て、2017年常務執行役員、2021年執行役員、2022年4月代表執行役社長CEO。同年6月から現職。1994年から10年間、労働組合の専任役員を務める。

【藤江社長】もう一つ言わせてください。私、JRFファンなんです。愛読書の「時刻表」です。今回取材の話も、今更に取りたいです。自宅にある1970年代の時刻表を見ながら、当時松江の母の突然に急行「だいでん」で7時間くらいかけて帰ったことを思い出しています。JRの皆さん、これからも頑張ってください。

「たすけあいの輪をむすぶ」
こくみん共済 coop は、
次のステージへ

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済〈全労済〉

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込みに居住または勤務地の共済協会の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。



司会: 吉田執行委員

【吉田】労働組合がチカラを結ぶことで、事故を未然に防ぐために積極的に取り組んでいくことが重要です。【藤江社長】安全は「終わらないうちから」です。労働組合から提起されています。【藤江社長】安全は「終わらないうちから」です。労働組合から提起されています。

【藤江社長】もう一つ言わせてください。私、JRFファンなんです。愛読書の「時刻表」です。今回取材の話も、今更に取りたいです。自宅にある1970年代の時刻表を見ながら、当時松江の母の突然に急行「だいでん」で7時間くらいかけて帰ったことを思い出しています。JRの皆さん、これからも頑張ってください。

JRグループ労組連絡会 第21回分科会プロジェクト

グループ労組が「丸」となつて取り組むことができる 闘争方針を練り上げていこう

2025春季生活闘争に向けた議論を展開

JRグループ労組連絡会 第21回分科会プロジェクトは12月5日、大阪市内において第21回分科会プロジェクトを開催し、ONET 冒頭、挨拶に立った奥村代表幹事



積極的な議論を呼び掛ける奥村代表幹事

表幹事(JR東海連合・東海交通事業労組執行副委員長)は、2024春季生活闘争を振り返り、「大きな成果を勝ち取ることができたが、他産業や社会情勢を踏まえると課題の残る結果となった」と述べ、JR産業が持続的に発展するためには人財の確保・定着を実現する必要があると、2025春季生活闘争では、産業の魅力向上に向けて「グループ労組が丸となつて取り組むことができない闘争方針を練り上げていこう」と訴えた。

表幹事(JR東海連合・東海交通事業労組執行副委員長)は、2024春季生活闘争を振り返り、「大きな成果を勝ち取ることができたが、他産業や社会情勢を踏まえると課題の残る結果となった」と述べ、JR産業が持続的に発展するためには人財の確保・定着を実現する必要があると、2025春季生活闘争では、産業の魅力向上に向けて「グループ労組が丸となつて取り組むことができない闘争方針を練り上げていこう」と訴えた。

業種別の9班に分かれて議論した分科会別討議では、闘争方針(素案)の是非のほか、春季生活闘争の取り組み課題や分科会毎の政策課題等についても議論が展開された。各分科会からは、人財の確保・定着に向けた取り組み、賃金面以外の総合生活改善

が、目標賃金の設定根拠となる厚労省の賃金センサスが2023年分(前年分)であることに鑑みれば、現在の状況を維持するだけでも相当の賃上げが必要であると示した。また、JRグループ労組連絡会の2024春季生活闘争での賃上げ率は2・08%(定昇相当分を除く推計値)であり、連合が集計した中小組合の賃上げ率(2・96%)、2023年の物価上昇率(3・2%)に届いていないほか、継続した大胆な賃上げが実現できなければ、大幅な引き上げが想定される最低賃金にも追いつかれかねないとの危機感を表した。そのうえで、2025春季生活闘争は中期労働政策ビジョンに基づき、連合や交運労協の方針賃上げ分4%、定昇相当分を含めて6%を基軸に具体的な要求を掲げるとした方向性を示し、「人財の確保・定着を実現するためには、社会水準並の賃上げは避けられない」との姿勢を明らかにし、分科会での議論を促した。

人財の確保・定着 価格転嫁・適正取引の推進に向けた声次々

業種別の9班に分かれて議論した分科会別討議では、闘争方針(素案)の是非のほか、春季生活闘争の取り組み課題や分科会毎の政策課題等についても議論が展開された。各分科会からは、人財の確保・定着に向けた取り組み、賃金面以外の総合生活改善



分科会別グループに分かれての討議



明けましておめでとうございます。皆様には健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。日頃のご精励と組合活動への協力に感謝いたします。

本年1月末には国鉄の期間をJRの期間が超えます。そして戦後80年の節目の年でもあります。JR産業は大きな転換期にあります。社会の変化に未来志向で対応し、持続的な成長を築いていかなければなりません。成果にこだわり、次代への道筋を付けるために、効果や時間を意識して新年に臨みます。私たちの決意を3点申し上げます。

まず、安全の確立です。4月25日に福知山線列車事故から20年を迎えます。改めて、事故を決して忘れず、安全最優先で取り組むよう訴えます。最近では車・感電・墜転落などかねてより発生している類型の事故

が相次ぎ、JR産業で昨年は7人が労災で命を落としました。ルールや基本動作の遵守や確認の励行など、原点に立ち返り、安全確立に全力をあげなければなりません。また、昨年はJR九州高速船での不正・隠蔽やJR各社で輪軸組立作業でのデータ不正など、安全やコンプライアンスに関し社会の信用を失う事象が続きました。すべての組合員が「ルールの逸脱は許されない」との意識を持ち、問題があれば妥協なく指摘し、「自分ごと」として取り組むよう訴えます。

【年頭所感】
責任ある労働組合と健全な労使関係が不可欠
会長 荻山市朗

2点目に労働政策です。JRグループ各社では人財の確保・定着に向けた取り組み、賃金面以外の総合生活改善

第37回中央委員会の開催について

1. 日時	2月4日(火) 13時~17時
2. 場所	ホテルマイステイズ新大阪 コンファレンスセンター
3. 議題	(1) 経過報告 (2) 当面する活動方針 (3) 2025春季生活闘争方針 (4) その他
4. 出席範囲	(1) JR連合役員 (特別執行委員、会計監査員含む)

(2) 中央委員	34名
JR北労組	1名
JREユニオン	1名
JR東海ユニオン	11名
JR西労組	13名
JR四国労組	3名
JR九州労組	4名
貨物鉄産労	1名
(3) 特別中央委員	9名
JR東海連合	3名
JR西日本連合	3名
JR四国連合	1名
JR九州連合	1名
JR貨物連合	1名

JR九州リテール労働組合

私たちJR九州リテール労働組合は、2005年5月19日に結成し、JR九州リテール株式会社で働く社員の211人(2024.9.1現在)が加入しています。組合結成以来、『勤労者全員が真の「幸せ」を共有できる企業を創り上げる』ことを最重点テーマに掲げ、職場環境の改善や労働条件の維持向上に取り組んでおり、より働き甲斐がある・働きたくなる会社を目指しJR連合の一員として、すべての仲間の幸せのため一致団結し日々邁進してまいります。

JR九州リテール株式会社では、「安心・信頼・感動を実現し地域に密着したお客さま企業をめざします」を企業理念に、北部九州(福岡、佐賀、長崎、大分、熊本)でのファミリーマート虎ノ門ヒルズ店(東京・港区)

JR連合 ふれあいキャンペーン

グループ労組めぐり

~全国の仲間を応援しよう~

ミリーマートによるコンビニ事業、JR九州の駅等で展開するお土産専門店「銘品蔵」の2つの基幹事業の他にも、ファッションやコスメ事業などの総合小売業を展開しており、今年2025年には会社発足20周年を迎えます。近年では、ハンズやシャトレーゼといった新たなフランチャイズ事業にもチャレンジしており、九州外では2021年9月に東京1号店として「ファミリーマート虎ノ門ヒルズ店」を出店しました。

今後とも、JR九州リテール労働組合をよろしくお願ひします。

接客する安部店長

お知らせ

本紙第678号(2025年1月17日発行予定)「2025春季生活闘争方針案【討議資料】」は、速報性を期すべく、通常の紙ベースでの発行はせず、「JR連合ホームページ」での公開のみとします。

例年とは、発行形態が異なりますので、お知らせいたします。